

【後期県新人大会（11/12～16）】

後期県新人大会が県内の各会場で行われ、剣道部は女子団体で4連覇を果たしました。

県新人大会の結果を受けて、ソフトボール部が全国選抜大会への出場を決めました。



また、この他にも男子テニス部、女子テニス部が個人戦での全国選抜大会出場を決めました。（詳細はホームページをご参照ください）

【学校新聞コンクール（11/13）】

県高等学校新聞コンクールにおいて、新聞部が発行する「金高新聞178号」が総合の部で優良賞、部門の部では大竹葵さん（3年1組）が執筆した「転売ヤー横行は止められるか」が論説賞を受賞しました。



【赤い羽根共同募金（11/19～20）】

誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指し、募金活動を行いました。



各教室ではクラス会計、玄関前や職員室では生徒会執行部のメンバーが募金を呼びかけ、生徒や教職員が積極的に応じる姿が見られました。

皆様から寄せられた募金総額は20,649円となりました。

ご協力ありがとう
ございました！



STUDENTS' VOICE

～2025 留学体験記～

今年度は5名の生徒が「トビタテ！留学 JAPAN」に参加し、カナダ、ニュージーランド、オーストラリアにおいて探究活動を行いました。

グローバルな体験を経て感じたことを、参加者一人ひとりに語ってもらいました！

○高村陸斗さん（1年9組）
（オーストラリア）

「メルボルンで語学と競泳の両立を実践しました。大会にも出場し、世界で戦う選手の姿勢を間近で感じることで、自分が成長することができたとても貴重な経験でした。」



○新谷 葵さん（2年2組）（オーストラリア）
「オーバーツーリズム対策に必要な取り組みについて考えるため、ブリスベンに滞在しました。街中で人に話しかけたり話しかけられたりする文化に驚き、刺激的な留学でした。」

○川東小梅さん（2年3組）（カナダ）
「子育ての在り方を考えるため、バンクーバーに3週間滞在しました。ホストファミリーや住民との交流を通じて、多文化主義を知って自分らしくいることの重要性に気づきました。」

○田中 凜さん（2年3組）（ニュージーランド）
「食と健康をテーマに探究しました。現地の価値観や文化、食の違いを実感し、学びの多い1ヶ月でした。貴重な経験になりました。」

○岸 華凜さん（2年11組）（オーストラリア）
「クリーンビーチをテーマに、ブリスベンで語学学校に通いながら探究活動を行いました。見るもの、すること全てが新しく、とてもいい経験になりました。」



「準備された心」

「幸福は準備した心にのみ宿る」——この言葉は先日、ノーベル化学賞を受賞された京都大学の北川進特別教授が語られた言葉です。元々はフランスの細菌学者ルイ・パスツールの言葉として知られています。言葉にはさまざまな解釈があり、北川先生は「いい先生、友達、学会での付き合いに恵まれた。それは準備された心なんです。（中略）いろんな経験を大切にしていくとそれが将来花開く」と付け加えられました。

「準備された心」、皆さんはどうですか？本校での出会い・機会・出来事など、何気ない日常の経験を大切にすることは将来の自分づくりの準備となると思います。皆さん一人ひとりが「準備された心」を持つとすることが、「幸福」に繋がるのではないのでしょうか？

ただ、「幸福」の解釈もさまざまです。幸福とは何なのか？この答えはいつ、どこで、どうやって、誰と得られるのかは未知数です。未知なるものを目指すのは困難ですが、目の前の物、人、時間などを大切にすることは難しいことではないと思います。できることから確実に取り組んでみましょう。

入試広報部長 谷口 智

【入試学校説明会を開催しました！】

「入試・学校説明会」が10月26日、11月8日、21日、22日の4日間、本校で開催され、多数の中学生と保護者が参加しました。本校の概要や進学実績、次年度の入試などに関する全体説明の後、施設見学や個別相談会が行われました。



留学体験記の紹介ボード



【感染症予防について（保健室より）】

朝晩の冷え込みや空気の乾燥などにより、ウイルスが増殖しやすく、インフルエンザなどの感染症に注意が必要な時期です。

今年は昨年より1ヵ月ほど早くインフルエンザの流行期が発表されており、感染予防対策を心がけ、体調管理には十分注意しましょう。

《感染予防対策》

- ①毎朝の健康観察：体調の変化に気づき、早めに対応
- ②こまめな手洗い：流水、石けんで30秒以上
- ③飛沫感染の防止：マスク着用と咳エチケットの徹底
- ④こまめな換気：30分に1回以上
- ⑤抵抗力を高める：「食事」「睡眠」「運動」
- ⑥予防接種の実施：重症化などの予防

